

街道東城路・街並み通信

vol. 7

～街道東城路周辺地区 魅力ある街並みづくりと地域の活性化 ワークショップについて～

平成28年8月

発行：庄原市都市整備課

街道東城路周辺地区において、歴史的な街並みの魅力を更に高めるとともに、賑わいの創出や住みよさの向上を図るため、住民や関係団体等の皆さんを中心としたワークショップを行いました（平成27・28年度）。ワークショップでの意見・提案をもとに、庄原市として具体的な施策・事業を検討するとともに、地元住民・事業者等の皆さんによるまちづくりの取組を促進します。なお、**第7回ワークショップ**は7月14日（木）に開催しました。

今回はこれまでの議論等を踏まえながら、A・B班は街並みづくりのルール案と公共施設の整備、C・D班は観光交流・地域生活に関する取組などについて、内容の確認、具体的な取組につなぐための方策などを話し合いました。

第7回ワークショップのプログラム等（要点）

～提案書（計画書）としてまとめ、具体的な取組につなごう～

日時：平成28年7月14日（木）19:00～21:00 会場：庄原市役所東城支所
参加者：住民・関係団体等の皆さん9人、アドバイザー2人、広島県3人、庄原市役所8人
進行役4人

はじめに

○あいさつ ○これまでの経緯と計画案の要点の説明 ○今日の進め方
※視察研修について：兵庫県豊岡市出石を候補地に、9月25日（日）の実施で調整中
⇒決まり次第、ご案内します。

これまでの議論等をもとに、計画案を整理・検討（班ごと）

A・B班合同『ルールづくり・施設整備班』

<街並み（景観）について>

○街並み景観ガイドラインに関わる計画案の説明



- 修正点などの確認、追加意見など
- これからの街並み景観ガイドラインの普及（地域での説明、勉強会等）など

<公共施設整備について>

○公共施設整備に関わる計画案の説明



- 修正点などの確認、追加意見など
- 優先順位の検討

C・D班合同『観光交流・地域生活班』

<観光交流・地域生活について>

○取組のテーマ、アイデアと展開の説明



- 取組のテーマ等の確認・方向付け
- プロジェクト、優先的な取組の候補の説明



- プロジェクトの確認・方向付け
- まず取り組んでみる

○まちづくりの推進体制の説明



- 推進体制の確認・方向付け



全体会

- 各班の発表、意見交換
- アドバイザーのコメント
- 今後の展開について
- おわりのあいさつ



街並みづくりのルール案・助成制度・管理運営など(街並み景観ガイドライン)

○これまでの議論を踏まえて整理した街並み景観ガイドラインについて確認し、意見をうかがいました。

【街並みづくりのルール案について】

- ・長椅子(ベンチ)の製作など街並みの演出について、大学生や東城高校生徒など若者の意見を取り入れる
- ・外部のサポーター(東城地域外のファン)を確保し、街並みづくりへ参加・協力してもらう
- ・「こて絵」や東城路オリジナルの「暖簾」の活用を図る
- ・歴史的建物へ時代、由緒などの分かる説明を簡潔に表示した銘板の設置 など

【管理運営などについて】

- ・管理運営する組織をNPO法人化する際は、ひろしまNPOセンターなどに指導を受けることも出来る
- ・継続的な運営のためには収入を得る必要があるが大変かもしれない(活動費助成金などが必要)
- ・空き家の管理、活用を請け負うことで活動資金を確保 など



○街並み景観ガイドラインについては、上記の内容を踏まえ、取りまとめます。

公共施設の整備

○これまでに出された公共施設の整備に関する取組について確認するとともに、優先順位について意見交換を行いました。

○短期的に取り組む内容としては、以下の内容があげられました。

- ・下本町ポケットパーク(トイレ等)の再整備・魅力づくり(高校生、大学生も含めたコンペの検討)
- ・街道東城路、大橋筋の道路の美装化
- ・三楽荘前ポケットパークの有効活用のための修景等
- ・東城川(成羽川、有栖川)左岸の道路の整備(美装化、補修)
- ・国道314号バイパスの景観に配慮した整備(法面緑化など)
- ・サイン計画の作成・設計、整備

○各整備内容に関する意見としては、以下の内容があげられました。

【全体】

- ・部分的に考えるのではなく、ブロック単位などで面的に事業を検討する必要がある

【ポケットパークの整備・充実】

- ・314号から南側(下町)の魅力アップのため、ポケットパークを再整備

【道路】

- ・道路と水路・側溝は一体的な整備を行うことも検討

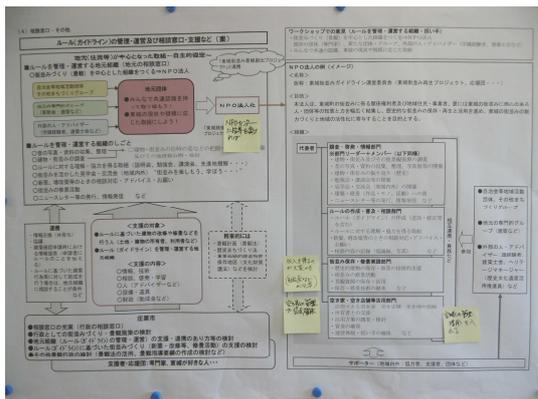
【無電柱化】

- ・無電柱化は道路の狭い下町を先行してはどうか⇒下町は県道(庄原東城線)のため調整が必要
- ・無電柱化の前に、今ある歴史的街並みを残すことが優先。このままでは徐々に取り壊される可能性がある

【サイン計画】

- ・サイン計画には地域住民や高校生などの意見を活用する⇒最終的まとめはプロのデザイナーに依頼
- ・東城の絵図を説明板や案内板に活用する
- ・地域のマーク(板のれんなどの特徴)をつくり、サインのどこかに統一的に入れる
- ・サインを3パターンくらい(デザイン、表示内容など)で整備する

○これらの内容をもとに、公共施設の整備計画をまとめます。



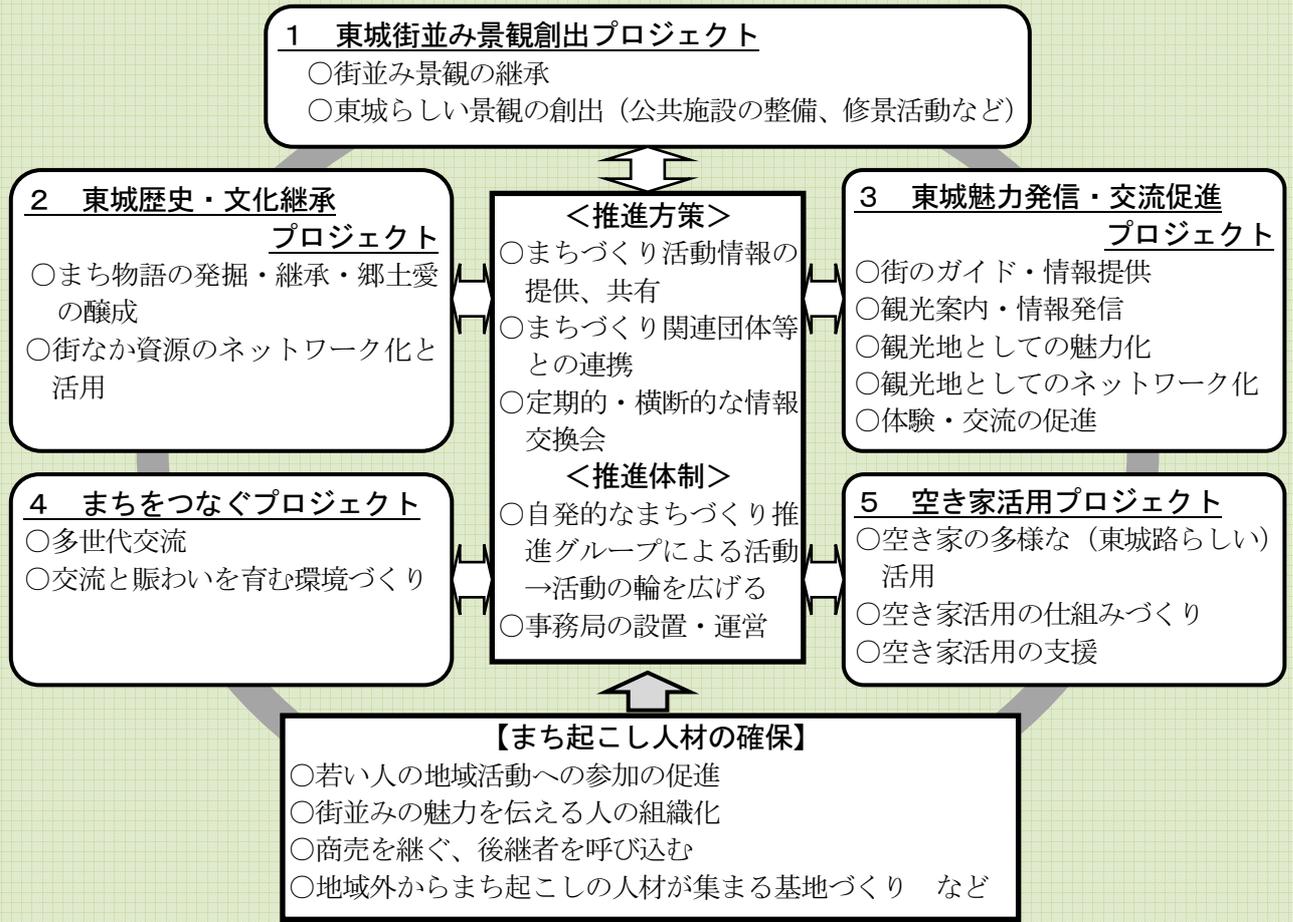
まちづくりのテーマ

○前回(第6回)のワークショップで出された意見を踏まえ、将来像や目標を達成するための8つのまちづくりのテーマと取組アイデアに再整理しました。

【まちづくりのテーマ】

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| 1 東城街並み景観 | 2 東城らしい都市環境づくり | 3 東城歴史・文化継承 |
| 4 東城観光・交流促進 | 5 東城丸ごと体験・交流 | 6 多世代交流促進 |
| 7 空き家活用 | 8 まち起こし人材確保・連携 | |

○各テーマの取組アイデアのうち重要とされた内容をもとに、5つのプロジェクトに再編し、どう具体化させるか、また、取組を支える推進体制やまちづくり人材の確保などについて検討しました。



プロジェクトの内容など(意見)

■今後の取組について

- 情報共有
 - ・えびすへの掲示板設置と情報の一元化
 - ・地域取材に関する情報の共有
 - ・商品情報など地域内情報の共有
 - ・個人の取組なども地域で情報発信する方法の検討
- 現在ある活動の展開
 - ・地域でのもてなし体制を継続する
 - ・地域活動が統一した形になるような工夫
- 新たな取組の展開
 - ・自由に入出入り出来る集まりの場の検討
 - ・集まりの開催情報を幅広く伝える
 - ・推進体制へのボランティア隊員登録制度
 - ・活動の中で人を育てていく
- 事務局
 - ・ワークショップを継続する形での展開
 - ・活動費の確保(各種制度の活用)
 - ・えびすを地域内交流等の拠点化に
 - ・事務局による呼びかけと場所の提供
 - ・皆が集まって提案し合い、具体的に取組んでいく形を目指す
- ワークショップの成果について
 - ・報告会等により地域での共有を図る
 - ・地域で活用していくための方法の検討

アドバイザーからのコメント

(松田智仁氏[広島市工業技術センター所長])

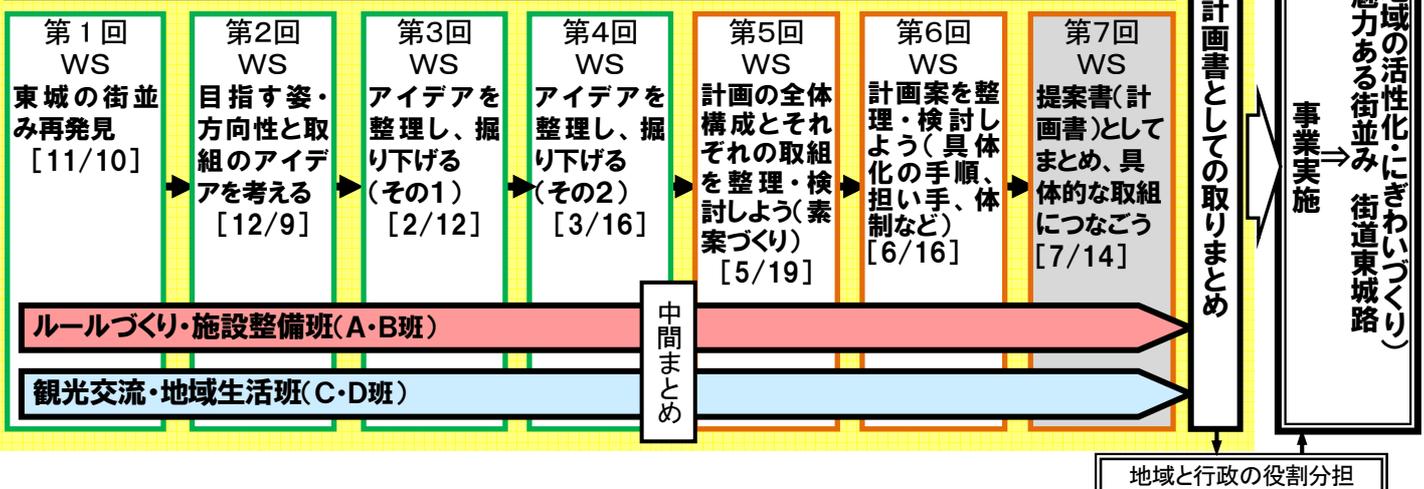
- 備えておくと良い資源として2つの資源があります。1つは、人の知識欲を満たすための『うんちく資源』です。例えば説明板で、立ち止まって解説を読むことで、歴史や文化という知識を得られます。次に『足跡資源』です。一度訪れた際に、工芸などで自分が作った物が街並みの中に残ることで自慢になります。
- タイムテーブルにそって活動を進める事も大切ですが、コブシの木やモミジなどを苗から育てると、時と伴に大きく育ちます。早めに取り組むことで、成長を実感することが出来ます。
- 全国各地で食品開発、特におみやげ物の開発が行われています。東城であれば日本酒か饅頭かと思いますが、今後は車で観光客を意識したノンアルコール系の飲料や、近所にお土産として配れる少し日持ちする物の開発があると良いかも知れません。
- 都市部では親子共にマンションで生まれ、育った世代が増えており、『ふるさと』が分からない人も増えているため、空き家を活用して自然や夜空と共に『ふるさと』を体感する機会の提供も良いと思います。
- 電線や電柱は無電柱化だけではなく、尾道では電線類が茶色になっているなど、茶色や木目の柄にすることで風景にマッチさせる方法もあります。より素早い対応が出来る方法も検討すると良いと思います。

(福田由美子先生[広島工業大学教授])

- 今回のワークショップで、近所の人でも知らなかったことを発見出来た、共有出来たことは大きな成果で、今後どうやって取り組みを動かしていくのが重要になります。
- 地域外の人にまちづくりに参加してもらうためには、地元の人が動いていることは大切です。まずは特定のターゲットを捕まえるためにも、東城ファンと常にやりとりが出来ると進みやすくなるかも知れません。
- 既にたくさんのイベントが四季以上の季節ごとに行われています。『東城のこよみ』を上手く伝えられるような発信を行い、東城に根付く暑いとき寒いときの暮らし方などの文化をアピール出来ると良いと思います。
- これまでの議論を踏まえて計画書がまとまりますが、その後の実行に移すときには、担い手が重荷にならないよう、今まで行ってきた活動に+αしながら取り組むと良いと思います。
- まずはワークショップ参加者、その他の住民を含めた情報交換会などを定期的に関き、気軽に参加出来るようになると思います。

ワークショップの進め方

平成 27 年度4回、平成 28 年度3回、計7回のワークショップを開催しました！



問い合わせ・連絡先

〒727-8501 庄原市中本町一丁目 10 番 1 号
 庄原市 環境建設部 都市整備課 都市整備係 担当：山田
 電話：(0824) 73-1151 FAX：(0824) 73-1147
 E-mail：toshi@city.shobara.lg.jp
 ~街並みづくりやまちづくりに関わるご意見なども、お寄せください~